

長崎県立長崎北陽台高等学校文理探究科 開科記念式典 県教育委員会あいさつ

日時：令和5年4月10日（月）

場所：長崎北陽台高等学校体育館

本日ここに「文理探究科」が開科し、創立45年目を迎える長崎北陽台高校に新たな歴史の1ページが開きました。

私たちは今、変化が激しく、5年後、10年後どんな社会になっているのか全く予測できない時代を生きています。一方で、世界には気候変動、エネルギー、食糧、紛争など、複雑で多様な問題が山積していますが、その解決のための正解がある訳ではありません。今、社会は正解のない問いで溢れています。そのような社会を生きる皆さんに必要な力、それは「知識と探究力」です。つまり、先生から出された正解のある問いに答える知識と、自分自身で問いを立て、自ら主体的に行動し、仲間と協力して解決策を考えていく探究力が今、求められています。知識と探究力を武器に、将来、ふるさと長崎や世界の未来を拓くリーダーに育てていただきたい、それが「文理探究科」に込めた私たちの希望です。

本日は、開科記念式典の開催にあたり、多くのご来賓の皆様方、並びに保護者の皆様方のご臨席を賜り、心から感謝申し上げます。

「ふみだせ！正解のない世界へ」。これは県教育委員会が掲げた「文理探究科」のスローガンです。これから正解のない世界に踏み出す皆さんに心に留めておいていただきたい3つのこととお話します。

一つ目は、「自分の中に疑問を育ててほしい」ということです。何でも鵜呑みにするのではなく「なぜそうなるのか」、「本当にそれは正しいのか」そう疑問を持つことで新たな問いが生まれ、思考も視野も広がっていきます。「なぜ？」と疑問に思ってみる、「どうして？」と興味を持ってみる、「本当に？」と疑ってみる。探究的な学びを通して本質を見極めることができる思考力や判断力を養ってください。

二つ目は、「果敢にチャレンジして、新しい自分と出会ってほしい」ということです。先日JAXA（ジャクサ）の宇宙飛行士候補に選ばれた米田（よねだ）あゆさんは、「月に行く道のりは簡単ではないが、可能なら私が月に行きたい」とおっしゃっています。米田さんのチャレンジがこれから始まります。チャレンジした先には見たことのない景色と新しい自分が待っています。こういう言葉があります。「チャレンジして失敗した後悔は時間とともに小さくなるが、チャレンジしなかった後悔は時間とともに大きくなる。」「探究」とは、慣れ親しんだ小さな世界から一歩、外に踏み出すチャレンジでもあります。

3つ目は、「私はどう生きたいのかを自分に問い続けてほしい」ということです。人は「当たり前」の内側にいるだけでは、自分がどんなふうにいるのか知ることができません。「探究」を通して、異なる場所で生きている沢山の人の営みに触れてみてください。また、自分と考えや価値観が違う方々と出会ってください。そうすることで「自分は何者か」を知ることができます。究極の探究のテーマは「自分はどう生きていくのか」を、つきつめていくことだと思っています。

最後になりましたが、「文理探究科」の開科にあたりご尽力を賜りました先生方をはじめ、関係の皆様方に、深く謝意と敬意を表したいと存じます。文武両道を掲げ、学力の向上はもとより、ラグビー部、登山部、生物部をはじめ多くの部活動で活躍されており、これまで長い伝統を持ち、多くの有用な人材を輩出してこられた長崎北陽台高校のますますのご発展を祈念いたしましてあいさつといたします。

令和5年4月10日
長崎県教育委員会